

平成 30 年度松山観光バス株式会社 運輸安全マネジメント実施計画書

～PS(個客満足のさらなる深化～MORE & MORE

スローガン: プロとしての自覚を持ち、安全という風土を高め、安心を創りあげよう！！

1. 運輸の安全に関する基本的な方針

1. 輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内においては社長自らが輸送の安全の確保と関係法令の遵守に主導的な役割を果たします。

また、現場における安全に関する声に耳を傾け現状を十分に踏まえつつ、輸送の安全に確保が最も重要であるという意識を全社員に徹底いたします。(毎月の安全会議)

2. 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めると共に本件に関する情報については、積極的に公表いたします。(ホームページ、FACEBOOKに随時、更新)

2. 目標の設定

- (1) 重大人身事故(第一当事者) 0件(29年度0件)
- (2) (1)以外の人身事故 0件(29年度2件)
- (3) 有責物損事故対前年比 2件(6件)
- (4) クレーム件数 1件(1件)
- (5) ～30年度安全目標～

1. 連続運転の撲滅(点呼の際、連続運転しやすい行程は必ず、アドバイス、29年度新規購入したデジ7による管理)

2. 重大事故ゼロ、物損事故(有責)2件

3. 29年度購入したドライブレコーダー、デジタコによる安全指導

4. シートベルトの案内を出発毎、DVDを必ず放映しよう。

～私たちは日本一感動を与えるバスを目指します！！～

3. 輸送の安全に関する投資額

- (1) 車両管理システムの推進 400,000円
- (2) 適正診断の積極的受講、外部講師、月一回の安全会議 300,000円
- (3) 塩害による下回りの補強 2,000,000円

- (4) 携帯アルコールチェッカー2台追加購入
- (5) バス協会主催による研修の積極的参加 50,000円

4.目標達成のための計画

(1) 運行管理体制の充実強化

点呼及び指導監督などの運行管理業務を確実に実施できるように運行管理者体制の確立（運行管理部長→安全統括者のチェック機能の強化）

運行管理代務者、運行管理者資格の積極的増員

顧問である菅野保険労務士に出発前後の労務管理のチェック依頼

(2) 教育及び研修の充実強化

ア. 月一回の安全会議の実施を行い、乗務員と経営者、運行管理者が一丸となって安全指導、組織体制の確立を図るべくコミュニケーションを図る。

安全会議では起きた事故、交通違反を事例に事故防止に努め、全社で共有する。

またマンネリ化を防ぐよう外部講師を多くする。

イ. 一般適性診断、高齢者には2年に1回適正診断を受診させ、運行管理者による個別指導を確実に行う。

ウ. 運転者講習会（バス協会主催）に積極的に参加し、安全運転の意識高揚を図る。

エ. 会議体をグループディスカッションを増やし、一人ひとりの参加型に変えていく。

オ. 教育、研修の様子をホームページ、FACEBOOKに公表し、お客様に最大の安心を寄与する。

(3) 昨年度購入したデジ7、ドライブレコーダーによるヒヤリハット収集を活用

デジタコによる速度の厳守、急発進、急ブレーキの抑制による事故防止、
運転ランキングによる競争意識の高揚、エコドライブ講習の参加による環境保護
の社会貢献（チームマイナス6%参加）

(6) アルコールチェッカーの活用

運行前後、遠距離の場合携帯用アルコールチェッカーの義務による飲酒運転撲滅

ASK 飲酒運転防止インストラクターによるアルコール知識向上

アルコール撲滅キャンペーンの指導

(7) インセンティブ制度の活用

平成30年度表彰制度

（デジタコランキング、事故など）を総合的に経営者により判断し、

乗務員の競争意識、プロとしてスキルアップ向上

外部団体の表彰の積極的活用を行い、乗務員のプロ意識の向上